

平成 1 1 年度試験研究成果

区分	普及	題名	水田除草剤ジャンボ剤（パック）による水田雑草の防除法			
〔要約〕						
拡散型除草剤の一つであるジャンボ剤は、畦畔から圃場周辺に額縁状に投げ入れることにより、水田雑草の防除が可能であり、既存剤と比較して作業負担が軽い散布法である。						
キーワード	水田除草剤	ジャンボ剤	周縁散布	農産部	水田作研究室 銘柄米開発研究室	

1. 背景とねらい

平成 1 2 年度から水田除草剤として県基準に採用されるジャンボ剤（クサトリエースHジャンボ、クリンチャーゲンボ）は、これまでの1キロ粒剤よりも散布が簡易であり、フロアブル剤等よりも散布の作業負担が軽くなっている。その除草効果について検討した。

2. 技術の内容

(1) 適用薬剤：ジャンボ剤（パック）

(2) 散布方法

ア. 圃場短辺が30m程度までの場合、畦畔からの散布が可能である。

イ. 圃場周囲の畦畔から、小包装（パック）のまま投げ入れる。

(3) 散布方法のメリット

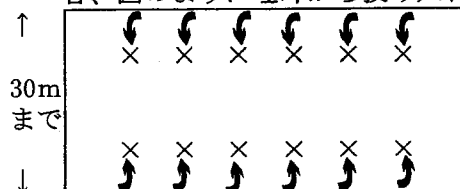
フロアブル剤は通常10a 当たり500mlのボトルを約25回振って散布するが（20ml/1振り散布とした場合）、ジャンボ剤では、10a 当たり30g～50gのパックを10個～20個、投げ入れることとなり、作業性に優れている。また、普及展示圃成績の考察からも作業負担が軽いことが認められた。

主な拡散型除草剤の周縁散布適用表

	圃場短辺の長さ			
	～30 m	～40 m	～80 m	80m 以上
ジャンボ剤	◎	□	△	△
クラッシュ1キロ粒剤 (手散布処理)	◎	◎	□	△
フロアブル剤 (レトリーフロアブル・シー ゼットフロアブルを除く)	◎	□	△	△

注) ◎ 畦畔からの散布が可能、□ 圃場内散布が必要
△ 圃場内散布が必要であり、圃場内歩行が長距離となる。
(クラッシュ1キロ粒剤は拡散性に特に優れる性質を持つ粒剤)

(ジャンボ剤散布例) 短辺が30m以下の圃場の場合、図のように畦畔から投げ入れる。



圃場が不整形な場合は、圃場面積にあわせたパック数を均等に投げ入れる。

3. 普及上の留意事項

- (1) 散布前に湛水深を5～6cmにし、水の出入りを止めること。
- (2) 藻類・表層剝離の発生がみられるところでは、拡散が不十分となり、効果の劣る可能性があるため使用しない。
- (3) 強風下では使用を避ける。
- (4) パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で袋が破れることがないように注意する。
- (5) 小包装（パック）のまま水田に均等に投げ入れる。
- (6) 開封後の保管については、袋の口をガムテープなどで閉めて、冷暗所に保管する。

4. 技術の適応地帯

県下全域

5. 当該事項に係る試験研究課題

〔水田利用2〕－2－(2)－ア 新除草剤の効果の解明

6. 参考文献・資料

- (1) 夏作関係除草剤・作用特性・適用性判定試験成績総合要録（水稻編）. 1995～1999. (財) 日本植物調節剤研究協会
- (2) 平成 1 1 年度農薬展示圃成績書. 1999. (財) 岩手県植物防疫協会

7. 試験成績 (具体的なデータ)

表1 クサトリエースHジャンボの試験場成績 (対無処理区乾物重比%)

年次	試験区	ノビエ	その他 葉	マツバイ	ホタルイ	ヘオダ モカ	オモダ カ	ヒムシ ロ	クロ グイ	合計	備考
平成 11年	圃場周囲散布:28a (28m×100m)	0	4	0	t	0	0	0	0	t	北上所内、+11処理、水深7cm
	畦畔部 (4地点)	0	4	0	1	0	0	0	0	t	処理時: ノビエ1.2~2.0L ホタルイ1.4~2.2L
	中央部 (1地点)	0	3	0	0	0	0	0	0	t	
11年	圃場周囲散布:19a (36m×53m)	29	0	0	5	0	0	0	0	8	江刺所内、+11処理 水深7~9cm
	畦畔部 (4地点)	36	0	0	5	0	0	0	0	9	処理時: ノビエ1.5L ホタルイ2.0L
	中央部 (1地点)	0	0	0	5	0	0	0	0	3	

注) 江刺所内試験は、処理時表層剥離多発し、強風のため成分拡散不十分

表2 クリンチャージャンボの試験場成績 (対無処理区乾物重比%)

年次	試験地	試験区	処理時期	処理量 /10a	ノビエ	合計	薬害	備考
平成 10年	水田 作研	(バズーカA 1キロ粒剤36) →クリンチャー ジャンボ (実規模28a)	(+10) →ノビエ3.0-7.2L (+52)	(1kg) →1.5kg	1	1	無	28a 区画試験から 中央部: 3.8-4.0L枯殺 畦畔部: 3.0-4.6L枯殺 投下地点: 3.8-5.3L枯殺

表3 クサトリエースHジャンボの普及展示圃成績 (H11)

公所	除草剤名	処理時期	処理量 /10a	処理時の雑草 発生状況	残草量 g/m ² (慣行比%)	薬害	総合 評点	備考
盛岡 普セ	クサトリエース Hジャンボ	+10	30g×10個 (300g)	ノビエ1.5L	生体0.10g (38%)	無	A	30a (畦畔からの散布) 灰色台地土・埴壤土 日減水深1cm/日 考察: 散布が省力的
花巻 普セ	クサトリエース Hジャンボ	+6	30g×10個 (300g)	ノビエ始 ホタルイ始	風乾 t g (100%)	無	A	50a (畦畔からの散布と圃場 内散布組合せ) 細粒グライ台地土・埴土 日減水深1cm/日 考察: 省力的である

表4 クリンチャージャンボの普及展示圃成績 (H11)

公所	除草剤名	処理時期	処理量 /10a	処理時の雑草 発生状況	残草量 g/m ² (慣行比%)	薬害	総合 評点	備考
盛岡 普セ	(プロスパーA 1キロ粒剤) →クリンチャー ジャンボ	(+8) → +31	1kg →50g×30個 (1.5kg)	ノビエ発生始 →ノビエ4.0L	生体0.03g (3%)	無	A	25a (畦畔からの散布) 褐色低地土・埴壤土 日減水深1cm/日 考察: 散布が省力的
遠野 普セ	(レトリー フロアブル) →クリンチャー ジャンボ	(+4) → +22	500ml →50g×20個 (1kg)	ノビエ発生前 →ノビエ2.5L ~3.0L	生体0.00g (0%)	無	A	1ha (畦畔からの散布と圃場 内散布組合せ) 多湿黒ボク土・埴土 日減水深1cm/日 考察: 小区画であれば、散 布省力的である。
釜石 普セ	(フジグラス 1キロ粒剤75) →クリンチャー ジャンボ	(+7) → +26	1kg →30個 (1.5kg)	ノビエ1.0L →ノビエ3.5L	風乾0.00g (0%)	無	A	6a (畦畔からの散布) 褐色森林土・埴壤土 日減水深2.4cm/日